

市長の国、県との人的パイプの発揮、その実績は

～要請や要望の実現の判断は難しく、成果は申し上げかねる～

質

県、国との風通しが悪いという市民の不安があれば説明が必要と考える。市長として特別にやりたい事業はないのか、あるいはないのか。活動や行動を起こした結果には結び付かなかった、いいじゃないか、市長が頑張っていることが市民には伝わりません。個々の活動を公開しない理由は。

答

市長

要請の内容によってはお話できかねることあります。市長としての活動全般に当たってはホームページをリニューアルしますので、

質

もつと公表していく必要があり、ホームページを活用しながら市内外に発信したいと考えます。

質

市民に大きな不利益が起きると考えますが、県議会議員選挙で新人の特任候補を支援と新聞報道にあったことは、合併10周年を迎え市民が一体感を醸成しようとして努力する最中に市を二分、三分する旗振り役になった。市長として倫理、品位に欠けないか。

答

市長

公的な発言をした覚えはありませんし、新聞報道のみを前提とした質問には触れる必要は全くないと思います。現職県議とも良好関係を続けています。

質

1年以上前に、福岡市にアンテナショップを設置しアジア戦略の拠点として位置付けるという具体的な言われているが、トップダウンとして絵に描いた餅ではないか。

答

市長

何を売れるかや、アンテナショップの機能、誰をどこに配置するなど厳しい条件がありまします。今後煮詰めていきたいと思えます。

質

継続の実績でなく今後という言葉がやたらと多い。雇用創造事業では八千万円のセミナー事業がセミナーで終わってないか。関係者間のネットワークが構築されているか。できていれば、地方創生にいち早く対応できると思う。

答

市長

雇用の創造事業を基礎として市民の皆さんが立ち上がってやっています。里の旅公社を通じて事業展開していくことも目的としています。

質

市役所内に組織された地方創生本部のメンバーに支所長不在ですが、周辺対策は地方創

生の柱ではないか。

答

市長

地域創生課をもとに関係課、支所長も含め全ての関係職員で連携してやっていきたいと考えています。

質

地域担当制度は全く機能していない。副市長が議員の時、自治会長との連携できめ細やかな手立て、支援をどう発言しているか、立場が変わりどうされているか。

答

副市長

残念ながら、全ての職員が地域担当の責務を果たしているとは思っていません。地域に溶け込み信頼を得るための活動を求めています。

太陽光発電の自治体直営は市民にどう評価されるのか

～ 市政運営にとって貴重な財源となり、有意義なもの～

答

市長

市政運営にとって貴重な財源となり、有意義なものと考えます。天候などにより発電量が左右されるが適正な運営に努めます。

質

自主財源の確保の基本は税収、使用料である。平成25年度一般会計、特別会計の未収金7億3800万円。※不納欠損6200万円にのぼる事実が太陽光発電の自主財源が吹っ飛んでしまう。橋本市政6年間で改善がないかどうするのか。

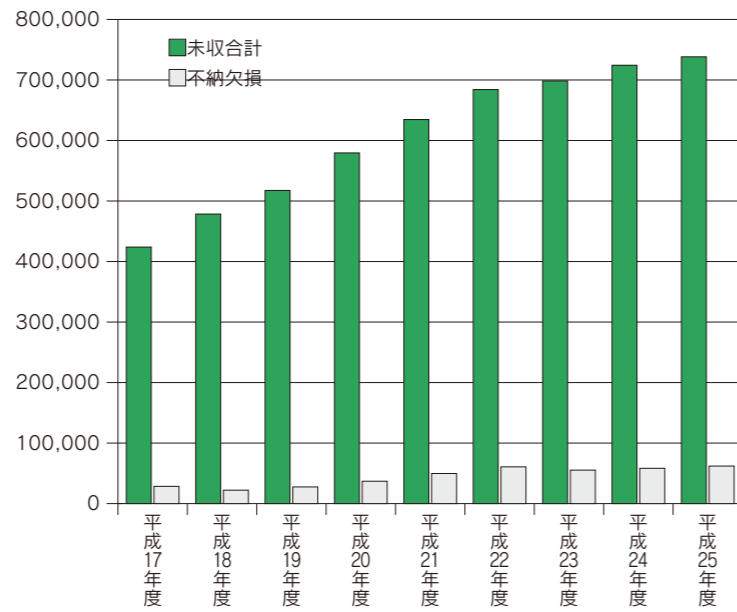
答

市長

滞納対策として行政サービスの制限にかかるとの事例(仮称)の制定に向け取り組む予定です。

自主財源に係る未収状況 単位：千円

	一般会計	特別会計	合計	不納欠損
平成17年度	215,619	208,254	423,873	28,524
平成18年度	247,545	230,918	478,463	22,194
平成19年度	271,065	246,435	517,500	27,551
平成20年度	309,809	269,693	579,502	36,990
平成21年度	356,525	278,078	634,603	49,735
平成22年度	352,618	331,522	684,140	60,734
平成23年度	363,675	334,775	698,450	55,312
平成24年度	367,588	356,787	724,375	58,363
平成25年度	354,187	384,123	738,310	62,054



不納欠損＝歳入徴収額を測定したものの何らかの理由で徴収が行えず、今後も徴収の見込みがないため、地方自治体はその徴収を諦めること。



リニューアルされた市役所ホームページ



おのゆうじ 小野 勇治 緑政会